



# 横浜銀行 上海支店

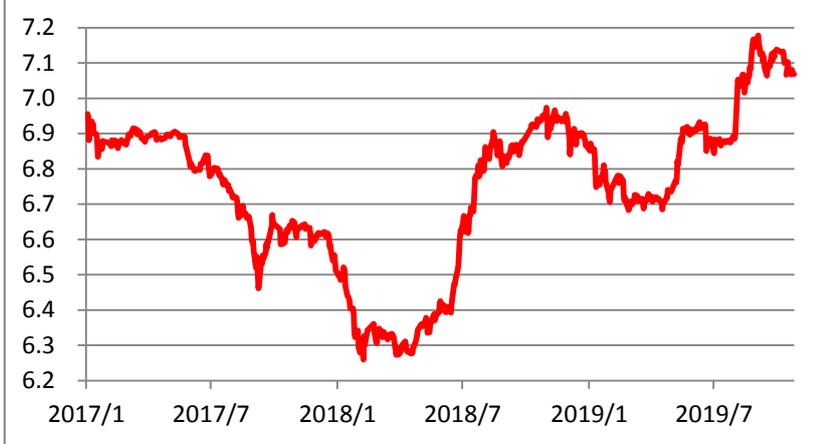
## 週間マーケットレビュー(2019.10.25)

電話 86-21-6877-6800 ファックス 86-21-6877-6680

### 1.為替動向

【為替レート(USD/RMB)の動き】

(単位:元)



出所:CFETS(Close Rate)

USD/RMBの動き

月日	為替レート
10月12日 土	-
10月14日 月	7.0669
10月15日 火	7.0778
10月16日 水	7.1030
10月17日 木	7.0841
10月18日 金	7.0825
10月21日 月	7.0678
10月22日 火	7.0817
10月23日 水	7.0745
10月24日 木	7.0702
10月25日 金	7.0682 ※

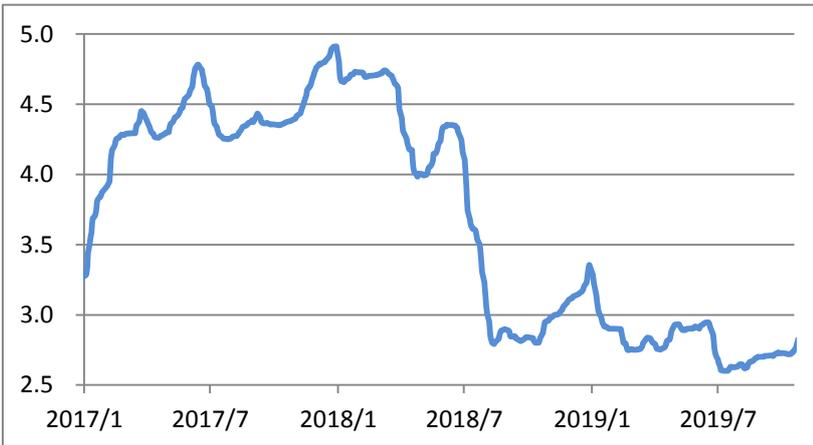
※15:00時点

- ・10月22日、『中国が年間2600億円相当の対米報復関税をWTOに申請した』との報道により、米中貿易交渉の先行き不安が幾分か強まったことから、元安が進んだ。
- ・10月23日、『国務院が農産物等の輸入拡大、資本取引規制の緩和、人民元の安定化等の方針を示した』との報道があった。この方針については、既存政策が繰り返し表明されているにすぎないものの、結果として市場の信頼感を高め、人民元を下支えしたとの市場関係者の声もある。

### 2.金利動向

【SHIBOR(上海銀行間取引金利)3か月ものの動き】

(単位:%)



出所:中国外汇交易中心暨全国银行间同业拆借中心

SHIBOR3か月ものの動き

月日	金利(%)
10月12日 土	2.7190
10月14日 月	2.7220
10月15日 火	2.7310
10月16日 水	2.7320
10月17日 木	2.7360
10月18日 金	2.7460
10月21日 月	2.7630
10月22日 火	2.7930
10月23日 水	2.8080
10月24日 木	2.8240
10月25日 金	2.8310

- ・10月21日にはLPRが公表されるも、先月のレート(1年:4.20%、5年超:4.85%)から変化はなかった。
- ・10月24日の法人税支払いに向けて、翌日もののSHIBORは上昇傾向にあったが、中国人民銀行が今週1週間で合計5600億元の資金供給を行ったことをうけて、低下していった。
- ・期間2週間超のSHIBORについては、毎営業日、わずかながら上昇する傾向が続いており、SHIBOR3か月ものについては、先週末比で上昇して推移している。

#### -Disclaimer-

本レポートは情報提供のみを目的として作成したものであり、何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に関しては、すべてお客さまご自身でご判断下さいますよう、よろしくお願い申し上げます。本レポートは信頼できると思われる情報に基づいて作成していますが、当行はその正確性を保証するものではありません。本レポートのご利用によりお客さまがいかなる損失、損害を受けられても当行は一切の責任を負いません。本レポートはお客さま限りでご利用くださいますようお願い申し上げます。

### 3.ビジネスピックアップ

#### (1) 社会/中国「顔認証」の光と影

顔の情報から個人を特定する顔認証システム。日本では普及が遅れているが、中国では急速な勢いで開発・導入が進んでいる。

決済分野においては、最大手支付宝(アリペイ)と微信支付(ウィーチャットペイ)の2社に追随する形で顔認証システムを導入する企業が相次いでいる。今月だけでも中国銀聯(ユニオンペイ)、中国東方航空、ユニバーサル北京リゾート(2021年開園予定)等、大手企業がサービス開始を発表した。

本人確認を即座に、かつ高精度で行うことができるのは非常に便利だが、一方でセキュリティやプライバシー面からの批判も多い。今月18日には浙江省にあるスマート宅配ボックスの鍵を、小学生が顔写真を使って開錠してしまう事件が報じられた。また、中国には顔データの売買を行う闇市場が存在するといわれており、増え続ける監視カメラは国民に不安感を与える懸念が残る。長引く香港デモで若者たちが顔をマスクで覆い監視カメラを破壊した光景は記憶に新しい。

顔認証は新しい技術分野であるため、国際的な法整備が十分ではない。14億人の人口を抱える中国には、利便性と安全性を考慮した難しい舵取りが求められている。

#### (2) イベントレポート/「大連日本商品展覧会」に参加

9月27日～29日にかけて第十一回大連日本商品展覧会(於:大連世界博覧広場)が開催された。この展覧会は2008年の開始以来毎年開催され、今年は350社余りの日系企業が出展し、3日間で累計10万人を越す来場者数を記録した。

大連市は古くから日本との交流が深く、多くの日系企業が中国拠点を置いている。今回の展覧会では、一般消費者向けの越境ECブースが設置され、各出展企業のQRコードを読み込むと、商品の購入、即時決済、保税倉庫から購入者への配送手配がなされる仕組みが導入されていた。会場は一般個人を中心に来場者が非常に多く、相当な熱気が感じられた。



会場の様子

上海支店では、今後もお客様の中国ビジネスに役立つ情報をレポートしていきます。

#### -Disclaimer-

本レポートは情報提供のみを目的として作成したものであり、何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に関しては、すべてお客さまご自身でご判断下さいますよう、よろしくお願い申し上げます。本レポートは信頼できると思われる情報に基づいて作成していますが、当行はその正確性を保証するものではありません。本レポートのご利用によりお客さまがいかなる損失、損害を受けられても当行は一切の責任を負いません。本レポートはお客さま限りでご利用くださいますようお願い申し上げます。